

地域資源活用 3社に認定書

総合事務局

沖縄総合事務局経済産業部は8日、県内3社に地域産業資源活用事業計画の認定書を交付した。認定企業は試作品の開発や販路開拓などで信用保証枠の拡大や政府系金融機関の低利融資などを受けられる。

島藍農園(石垣市、大濱豪代表)は石垣島が北限のナン



地域産業資源活用事業計画に認定された前列から琉球睡眠の江口直美代表(右端)、島酒家の石黒新海代表(右から3人目)、島藍農園の大濱豪社長の代理で出席した中小機構沖縄の池村博隆プロジェクトマネージャー(左端)ら118日、那覇第2地方合同庁舎

バンコマツナギであい色に染めたカバンや名刺入れ、携帯用ポーチなどの首都圏への販路開拓を目指す。琉球睡眠(那覇市、江口直美代表)は睡眠の改善効果が期待される県産島野菜の「クワンソウ」を使った商品の製造・販売などに取り組む。

島酒家(那覇市、石黒新海代表)はスクガラスやヤイトハタなどを県産塩で塩漬けにし販売。伊平屋漁協をはじめとして県内各漁協と提携し、県産海産物の加工を広げている。